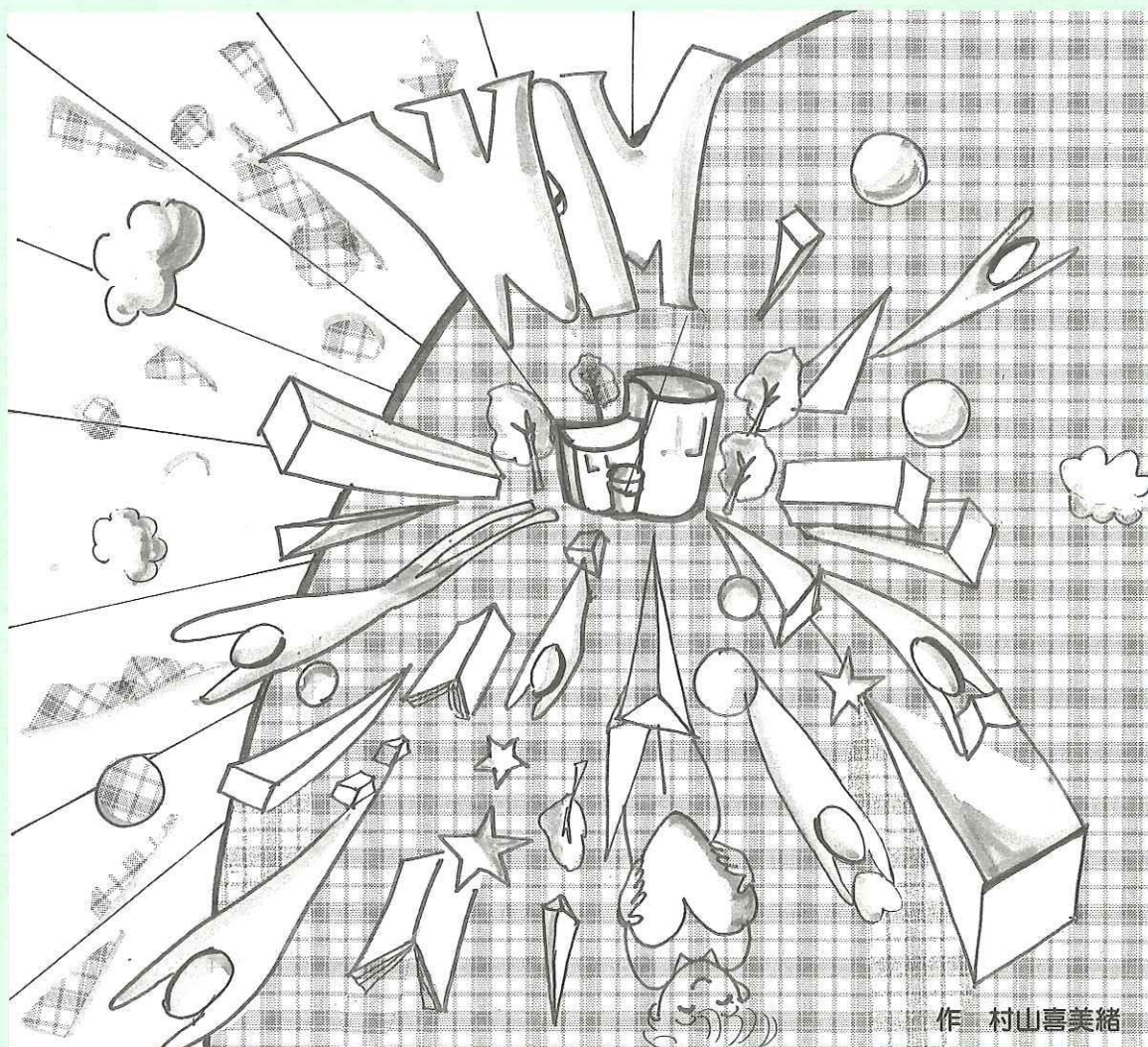


# WAM通信

APRIL.2001

No.2

特集「21世紀へ…ローズ WAM の役割」対談	2-3
レポート「少年犯罪と心について考える講座」香山リカ	4
「冬の市民講座・ローズ WAM 講座」	5
わくわく WAM・1周年記念事業予告ほか	6
利用ガイド	7
インフォメーション(カレンダー)	8



作 村山喜美緒

特集

## 「21世紀へ…ローズ WAM の役割」

対談 ローズ WAM 事業運営協議会会長 山田 芳子  
ローズ WAM 所長 櫻本 佳子

● WAM 通信では表紙を飾る作品を募集しています。

絵画・写真・立体作品等なんでも結構です。皆様のご応募お待ちしております。詳細はローズ WAM までお問い合わせください。

※掲載時は二色刷りもしくはモノクロとなります。応募いただいた作品は返却できません。掲載時、承諾をいただいたうえで加工する場合があります。



# 二十一世紀へ：ローズWAMの役割

## 対談

なごやかな雰囲気、山田芳子事業運営協議会会長と櫻本佳子所長との対談がおこなわれました。(司会・編集委員)



山田 芳子 事業運営協議会会長  
1929年生まれ、32年間の専業主婦を経て仲間と(株)アトリエFを立ち上げ、56才から仕事を始める。同時に茨木市で女性問題に関する活動をつづけ現在ローズWAMにて活躍中。  
大阪府プリムラ受賞(男女平等に貢献した人に対して)

櫻本 佳子 ローズWAM所長  
1974年から小学校教諭。1995年茨木市教育委員会社会体育課(国体室)勤務。1997年同社会教育課でPTAや社会同和教育を担当(社会教育主事)2000年学校人権教育課指導主事兼ローズWAM所長。

これまでを振り返っての印象はいかがですか。  
山田 ローズWAMまつりが終わって思ったことは、館全体が使える、場の持つ強さ。家庭や仕事という場ではなく、自由に創造して

いく事ができる、その意義は大きい。  
所長 昨年の四月にここに来て、建物だけにしたいくないと思った。場の設定と山田さんが言われたが、建物に人が動いて、どう組織していくかを最初に悩んだ。百四十人の方がスタッフ・アシスタントとして、どう動いていくか。人との出会いがエンパワーメントできる、それが男女共同参画社会の中心になっていく。一部の人のものでなく、二十万市民に知ってもらいたい。建物と人が、どうつながるかが大事だと思う。  
山田 そこに、百四十人の市民スタッフ・アシスタントのいる意味がある。貸す係の人と利用者の線引きが無く、お互いの交流ができる場として、利用者が貸

す側の立場にたつ新しい施設の試みである。  
所長 貸館だけにならず、今は市民のニーズに合わせて柔軟な講座がメインになってきている。  
山田 ボランティア講師による市民講座もあり、協議会で運営している「ぱーとナー」などもある。それぞれが、年代や男女の枠を越えてWAMまつりの時に結集していた。  
二十一世紀へのローズWAMについて  
所長 今、学校では総合的な学習の中で、生きる力(生き方を考える)が求められている。小・中・高とつながり、ローズWAMでもしかけていきたい。  
山田 他の施設では小中高生の見学が少ないが、ここは見学や授業もさせてもらっている。「どうしてこの

建物があるのか」からはじまり、子どもと一緒に考えている。ここからここまで学校の仕事、社会の仕事であるという線引きが、今は決まっていない。  
所長 昨日、電話があった。「WAMまつりの」相談フォーラムを聴いて感激した。人が対等に、垣根を取り払っている。こういうところがあるのを知らなかった。また寄せてもらいたい、とところで、いったいジェンダーってなに?と聞かれた。わかりやすく説明を入れるべきだった。  
山田 わかっていると思うって使ってしまうが、ジェンダー(社会的/文化的につくられた性差)という言葉を理解しているのは三パーセントぐらいです。でも言葉は知らないが実行していたらそれではないと思う。  
所長 小中学校高校生時代は、性差をあまり意識せずに生き生きと活動しているが、就職や結婚をしたとたんぶつかることがある。  
山田 ぶちあたって、はじめて気が付くことがある。若い女性で大学まで差別を感じたことがないのに、能

## 対談の中やセンターでとびかっている ジェンダーってなに!

### 用語解説

#### 《ジェンダー》

文化的・社会的に作られた性別のことで、遺伝子の配置や解剖学上の特徴による「生物学的な性別」と区別して用いることばである。

#### どんなこと??

ローズWAMへの見学にきてジェンダーを勉強した中学生たちの声をアンケートからみてみました。

テレビ(CM・ドラマなど)にも差別や偏見がたくさんあることがわかった。私たちは自分で考えてやっているように思っているけれど、テレビによっても「男は男」「女は女」ということが植え付けられているのだと思う。もっとキチンとCMも考え、番組でもとりあげるべきだと思います。男も女も仕事をしたら生活が裕福になるのだから(平等に)仕事をしたらいいと思います。

「女の子だから」とか「男の子だから」といってその人じゃないものを求めるのは違うと思う。(女の子は優しく…、男の子はたくましく…というように)それが「あたりまえ」「常識だから」で片付けることはいけないと思う。  
所長 具体的に獲得できるものがあるとか、悩みも若さで乗り切ってしまうが、三十代で子育てをして疲れて悩んでしまっただけ

「男の子にとって女らしい子」「女の子にとって男らしい子」でなくてはいけないのだろうか。  
ジェンダーは自分に関係ないように思いますが、結構私たちの生活にたくさん存在しています。

ぼくはジェンダーを勉強して、今までにさりげなく男女差別をしていたことがわかりました。

いろんな場面で女性がイヤな思いをしたり、男性がづらい立場に立たされたりと、不公平な世界がまだまだあるんだなと思った。

男が一家の大黒柱で、家族全員の生活費を儲け(稼)なければならぬという考えはありがたいと思う。それ(責任感)のせいで自殺する人の80%が中年の男性ということにつながると思う。

力を活かそうと会社に入るとたん、能力を活かして働いているのは男性だけというのが、まだある。こういうのがなくなると、住みやすい社会になると思う。まだまだローズWAMの果たす役割は大きい。  
所長 そういう意味で二十代の女性・男性がきてほ

しい。ぶちあたって一番必要とする二十代の人達が、これらの社会を作っていく。  
山田 二十代向けの講座ってむずかしいですね。  
所長 具体的に獲得できるものがあるとか、悩みも若さで乗り切ってしまうが、三十代で子育てをして疲れて悩んでしまっただけ

だせない時がある。  
山田 それが自分ひとりのことなのか、社会全体のことなのか。二十代の時は自分さえ頑張ればなんとかなると思っっているが、はじめてぶつかった時。  
所長 ここを思いだしてほしい。  
山田 違う生き方のヒン

トになるかもしれない。  
地域でのローズWAMの役割は  
山田 WAMまつりはスタートラインだと思った。所長 四月からやってきたことを、市民の方へどうぞ参加してみてくださいという総編集。みんなのエネルギーでやって、また、それ

ぞれエネルギーをもらった。  
山田 女と男の共生で、地域を拠点としたゆるやかなネットワーク、ローズWAMから広がる縁(えにし)は、地縁、血縁ではなく、新しい縁、知縁だと思う。  
所長 女性も男性も、ほっとできるオアシスの場に。ありがとうございます。



(写真は小学生の舞台発表より)

### ちょっときいてほしい話

いままでフツーにやってたことでも、ホントは差別で。それで苦しんでる人もたくさんいるって知って、すごくショックだった。男はたくましく!!正義感つよく!泣かない!スポーツができる!女を守る!力強く!

女は優しく。かわいく。しおらしく。ひかえめに。字がきれい。おしとやか。家事育児をする。

どお?これにゼーンがあてはまる人っているのでしょうか?そして、はたしてこれにあてはまらないでしょうか?いいわけないでしょう!また、ジェンダーは、私たちの気づかない所にも影をおとしています...こんなもんじゃ書ききれないくらい、ジェンダーはすごく社会に根をはって、はりついている。

なんか、おかしいな?あたりまえだと思っけれど、自分の気持ちと、どこかちがうなと思う。これがジェンダーっていうものだね。



# レポート

## 生きていく実感をもたれ共々!!

### 暴力と心について考える連続講座「少年犯罪と心について」

講師 香山 リカさん

2000年  
12月25日

少年犯罪がマスメディアの話題となつていますが、その特徴は、普通の子が問題を起こすことがあげられてきます。このことについて、おとなはどう考えて関わっていくべきなのかを、「少年犯罪と心」と題して香山リカさんに話していただきます。

まず問題提起として、少年犯罪は減少しています。

問題は、結果と動機のギャップにあります。自分の存在を証明するため、生きていく確認のために犯罪を犯すという、犯人の気持ちが解らなくなつてきています。簡単に原因を見つけようとして、一括りにしてしまうと見つけることができないのが、少年犯罪です。しかし、全体の傾向として、社会の中で生きていく実感がなく、誰にも認めら

れていない、愛されていないという、自己評価・自己承認がされていない。明るく元気になっている子どもでも、この傾向があります。どんな立場の若者でもおびえとか、自信のなさを持っています。その裏返しとしての気持ちとして、もっと大きなことができるのでは、という万能感をもっていることです。

#### おとなが生き方に

##### 自信をもつ

いい子の問題は、自由に振る舞えないことです。親の顔色ばかり見てきたが、中学で自意識がでてきたら自立をはばむように感じて、「こんな悪い子でも認めるか、愛せるか」と、極端なパターンで親を試そうとします。では、どうしたらいいのでしょうか。

おとなが生き方に自信をもつこと、自己を認めることです。子どもは、おとなが楽しくない、生き生きできていないのは、私やぼくがいるからなのかと思ってしまう。お母さんだけに、「いい子」でいたいと、むしろ家の中で緊張しているのではないのでしょうか。

#### 肩の力を抜いて

##### 自然体で

子どもと親の関係では、お母さん自身が子どもに依存していたり、親の願望なのよ「あなたのために言っているのよ」とすり替えてしまう。親が子どもを、理想どおりにしようとしていきます。少子化も、親が先回りして安全地帯を歩かせてしまい、適切な挫折体験ができなくなつてしまった原因です。



精神科医。神戸芸術工科大学視覚情報デザイン学科助教授。学生時代よりリカちゃん人形の本名をペンネームとしている。臨床経験を活かし、現代人の「心の病」について洞察を続けている。

子どもは秘めた力が大きいのに、安心して失敗をしない。おとなが視野を広くもつて、子どもに自分の親以外のおとなとふれあう機会を多くもつていって、おとなも肩の力を抜いて、自然体でいくことではないでしょうか。(講演抜粋)  
安心して失敗ができ、余裕を持って子どもを受けとめる社会には、母親だけでなく父親も子育てに参加して、生き生きとした大人のネットワークをつくつていく必要を感じました。

## おじやましましませう!

### 市民講座・ローズWAM講座

夏の開催に続いて、2月8日から冬の市民講座「ちょっとはじめてみま専科」冬のローズWAM講座「女と男のはじめの一步」「生活のなかの人権講座」が開講。延べ三百人の市民が講座に参加しました。

#### ちょっぴりおじやま

##### みま専科

市民ボランティア講師によるこの講座は、毎週一回全五回の講座で、今回は茶道・華道・英会話・中国語・絵手紙・ワイン・インド料理・フラダンス・フラワーアレンジメント・大正琴・真向法など、バラエティ豊かな十二講座が開講。人気の講座では定員の二倍以上の申込みの中から難関を突破したラッキーな受講者がローズWAMに集い、趣味や人の輪を広げました。

#### ローズWAM講座

ローズWAM講座は男女共生、人権について、いろいろな角度から考える講座



ワイン講座より

です。ちょっと堅苦しいようですが、実際の内容はどれもわかりやすく、楽しく、勉強になるものばかりです。

年齢の話や、妊娠六週から乳歯の芽ができ、七か月にはほぼ完成、永久歯の芽ができてはじめていくという話など、シヨッキングで新鮮な「歯は命、食は命」ということが実感できる内容でした。

その他、実技も経験できたパントマイムや無形文化財雅楽師の山田全一さんを迎えてのお話、男女共生では男性の立場からの子育て、二十世紀の多様な働き方、法律の視点での話など、本場にさまざまな特徴ある内容で楽しく意義のある講座となりました。

初日、吉田清彦さんの「CMの中の男女差別」ではいつも見なれているテレビコマーシャルをじっくり観察。参加者同士で話をするうち今まで気づかなかったいろいろなことに気づかされ、情報のおそろしさと、見極めの大切さを痛感しました。歯科衛生士の和田美登里さんは、たくさんのスライドと貴重な実体験に基づくお話で、入れ歯をはずし流動食にしたことをきっかけに寝たきりや痴呆になる高

いよいよローズWAMも二年目に突入します。今年度も皆さんのご意見を参考にさせていただきながら、満足していただける講座を実施していく予定です。夏と冬に市民講座とローズWAM講座(ジェンダーから生活の中の人権)も年に二回開講の予定です。詳細は七月、一月の広報お知らせ版、各施設設置のちらしをご覧ください。あなたもローズWAMに来てみませんか。



交流サロン 楽しくあ・そ・ぼ!! コマ作り



男の24時間



1F エントランスホール ジャグラー



講座「男性雑誌とジェンダー」

なんと 2月4日 1日で  
1,460人が来館!  
大盛況の楽しい  
1日でした!!  
第1回ローズWAM  
ここから始まる21世紀-ときどき・わくわく・いきいき-

入場無料

- 相談フォーラム 川喜田好恵さん講演ほか
- 露の都さん講演
- ゴスペルコンサート
- 市民講座体験コーナー
- 屋台みせ etc. etc.



# 利用ガイド

## 講座・催しの申込み方法

### ■往復はがきによる申込み

申込先 〒567-0882 茨木市元町4番7号  
ローズWAM ○○係 (←参加希望の講座・催し名)

567-0000	ローズWAM講座希望	記入要項
茨木市駅前二丁目 茨木花子	〒567-0000 茨木市駅前一丁目 茨木花子 40才 0726-20-xxxx 一時保育希望 太郎 4才	

往信裏面  
住所・氏名  
年齢・電話  
子どもの名前・年齢

### ■電話による申込み

茨木市立男女共生センターローズWAM  
0726-20-9920

受付時間内(火曜を除く、午前9時から午後7時)に、上記電話番号まで、希望の講座・催し名を確認のうえ、お申し込みください。

## 目と・WAM・相談

### ◆電話相談

女性のための電話相談 21-0892	毎週水・土(4月まで) 5月から月・水・木・金・土	午前10時 ～午後4時
※5月から休所日、日、祝日をのぞく毎日午前10時～午後1時		
子育て電話相談 22-5757	毎週木曜日	午前10時 ～午後4時

### ◆面接相談(要予約・20-9920)

女性相談	第2水曜日 第4水曜日	午後1時～4時 午後1時～8時
DV相談(夫・恋人等からの暴力に関する相談)	第1・第3水曜日	午後1時～ 午後4時
子育て個別面接相談		午前10時 ～午後4時
子育てグループ面接相談(3～6人のグループで申込)	毎週月曜日	
子育て相談井戸端会議 ※個人申込み、話し合いはグループ	第2金曜日	午前10時 ～正午
女性のための法律相談	第3木曜日	午前9時30分 ～午後0時30分
労働問題相談	最終木曜日	午後1時～ 午後4時
保健相談	第3金曜日	午前10時 ～正午

## ローズWAMでできること

ローズWAMでは毎月各種講座、イベントを行っています。詳細は館内ちらし、広報いばらきお知らせ版をご覧ください。

- ◆ 会議室・ホールを借りる
  - ・ホール(180名)、会議室、和室、料理工場の貸し出しをしています。予約制(窓口受付のみ)
  - 受付開始(ホール)3か月前の初日  
午前(会議室)1か月前の初日
  - ※毎月初日(午前9時～9時半)抽選会を実施
- ◆ ネットワークギャラリーを利用する
  - ・インターネット体験(1人1日30分)・ビデオ視聴
  - ・図書の閲覧・貸し出し(1人2冊2週間)
  - ※ご利用には「図書カード」が必要です。茨木市内在住・在勤・在学であることが確認できるものをおもちください。
- ◆ 交流サロン(2階)
  - ・自由にご利用いただけるスペースです。
  - 会合、待ち合わせ、ランチに!
  - (火曜日を除く、午前9時～午後7時、予約不要、無料)
  - ・コピー機、FAXも設置(有料)
- ◆ 印刷工房
  - ・男女共同参画社会推進のための資料作り等にご利用ください。事前に講習会(毎週木曜日午後3時)要受講。

※全館禁煙(館外西側に2か所喫煙場所があります)  
※ホールでの飲食・会議室でのお食事はできません。

## ローズWAMの一時保育

ローズWAMでは子育て中のお父さん、お母さんでも当館主催の講座・催しに気軽に参加していただけるよう2F「こどものへや」で一時保育を実施しています。ローズWAM自慢のあったかい保育スタッフが皆さんをお待ちしています。ご利用ください。

- 対象 満1歳以上就学前までの子ども
- 利用料 無料
- 要予約 講座・催し申込時、1週間前まで
- 定員 20人(予約先着順)

※予約の変更、お休みの場合はできるだけ早めに、必ずご連絡ください。



# ローズWAM一周年記念事業

4月14日(土)午後2時～4時 ワムホール

## おんたとおとこの過去未来

～ローズWAMからはじまる女と男の第二步～

女性と仕事の未来館館長 樋口恵子



(プロフィール)  
東京大学文学部卒、東京大学新聞研究所本科修了。時事通信社などを経て、評論家として独立。現在、東京家政大学教授。「高齢社会をよくする女性の会」代表、「女性と仕事の未来館」館長。著書に「女の人生七転び八起き」「ワガママなバアサンになって楽しく生きる」など多数。

申込方法 電話にて先着順、定員(180人)

4月11日(水)～16日(月)「女性週間・婦人週間のあゆみ」ぱねる展  
午前9時～午後6時 場所:地下1階ローズホール、2階交流サロン、他 申込不要・入場無料

## 男女共同参画フォーラム 6月22日(金)

男女共同参画社会基本法が制定されたこと  
～21世紀の最重要課題～

■基調講演 午後2時～3時  
「男女共同参画社会づくりをめざして」  
武蔵工業大学教授 男女共同参画審議会会長 岩男寿美子  
■フォーラム 午後3時～4時  
パネルディスカッション 岩男寿美子、他  
●会場 ワムホール ●一時保育あり

申込方法 電話にて先着順 定員 180人

## 子ども落語会

女性初の落語家 露の都さんによる子どものための落語会です。みなさんから多数いただいたジェンダーフリー川柳などもネタになります!子どもたちと一緒にお腹の底から笑いましょう。



6月9日(土) 午後2時～4時  
講師 露の都、若手落語家

8月より子ども落語教室も開催予定です。どうぞ期待!

●対象 小学生以上(一時保育あり) ●会場 ワムホール  
申込方法 電話にて先着順 定員 180人

## ビデオDEトーク

参加者募集中!

映画鑑賞のあとお茶を飲みながら、気軽に感想などを話し合います。  
毎月1回開催 6月までの予定

- 4月20日(金) 午後1時半～4時半  
「ユー・ガット・メール」
- 5月25日(金) 午後1時半～4時半  
「オール・アバウト・マイ・マザー」
- 6月22日(金) 午後1時半～4時半  
「ナビィの恋」

■定員 各回30人  
■申込 電話もしくは窓口で先着順。一時保育あり、要予約。

## おとうさんといっしょに楽しくあそぼう 親子でたのしくあそぼう

ローズWAMではひと月毎におとうさんと子ども、また親子で遊ぶ催しをしています。子どもどうしの、親どうしのコミュニケーションを広げる場として、ぜひご参加ください。

- おとうさんと楽しくあそぼう 奇数月 第3日曜日 午前10時～正午
- 親子でたのしくあそぼう 偶数月 第3日曜日 午前10時～正午
- 対象 茨木市内在住・在勤の親とその子ども(6か月～就学前)
- 定員 各30組
- 申込 実施月の2日午前9時から電話にて先着順。

## たそがれコンサート

毎月1回、ローズWAM1階エントランスホールで実施します。申込不要、入場無料。どなたでも気軽に聴いていただけます。詳しい内容は館内ちらし、広報お知らせ版でご確認ください。

## ラウンジぱーとなー

講演や会議の合間に、お散歩の途中に、ほっと一息いれませんか?挽きたての美味しいコーヒー、軽食とやさしい笑顔のスタッフが貴方をお待ちしています。

■営業時間 午前10時～午後7時  
※2階交流サロン、会議室等への出前も承っています。  
ローズWAM事業運営協議会





# ROSE WAM information

開館1周年を迎えて、ローズWAMでは今年もさまざまな講座・催しであなたをお待ちしています。最新の情報は、館内ちらし、広報おしらせ版でご確認ください。

4月

5月

6月

日	内容	相談
1	貸館抽選会	
2		子
3	休所	
4		DV
5		
6		井
7		
8		
9		子
10	休所	
11	婦人・女性週間のあゆみパネル展 (～16日)	女
12	就職セミナー(～20日)	
13		
14	女と男の過去未来 / 樋口恵子	
15		
16		子
17	休所	
18		DV
19		法
20	ビデオDEトーク「ユ・ガット・メール」	健
21	親子でたのしくあそぼう たそがれコンサート	
22		
23		子
24	休所	
25		女
26	「木下明美の『健康ダイエット日記』」	労
27		
28		
29		
30		子

日	内容	相談
1	休所	
2	貸館抽選会	DV
3		
4		
5		
6		
7		子
8	休所	
9		女
10		
11		井
12		
13	たそがれコンサート	
14		子
15		
16		DV
17	「乳幼児の救急医療(具体的対処法)」	法
18		健
19	舞台技術講座—照明編—	
20		
21		子
22	休所	
23		女
24		
25	ビデオDEトーク「オールアバウト・マイ・マザー」	
26		
27	おとうさんといっしょに楽しくあそぼう	
28		子
29	休所	
30	「相談の実際と相談員の対応のポイント」	
31	「聴くということと受けとめるということ」	労

日	内容	相談
1	貸館抽選会	
2		
3		
4		子
5	休所	
6		DV
7		
8		井
9	「子どものための落語会」露の都	
10		
11		子
12	休所	
13		女
14		
15		健
16	親子でたのしくあそぼう	
17		
18		子
19		
20		DV
21		法
22	男女共同参画週間(22日～30日)パネル展 フォーラム・パネルディスカッション・岩男寿美子他— ビデオDEトーク「ナビィの恋」	
23	たそがれコンサート	
24		
25		子
26		
27	「聴くことから始めるコミュニケーション」	女
28		労
29		
30		

女性のための電話相談 子育て電話相談

女:女性相談 子:子育て面接相談・グループ相談 井:子育て相談井戸端会議 DV:DV相談 法:法律相談 労:労働問題相談 健:健康相談

## 編集後記

- WAM 通信いかがだったでしょうか。またまたがんばりますので、いろいろなご意見お待ちしております by きみお
- 企画・編集に初めて参加できて楽しくよい経験ができました。 by みつこ
- 時計の振り子が時を刻む。(年がばれる)女と男の間も行きつ戻りつ試行錯誤でどちらかに固まるのではなく、でも方向性が大事なんだと…。揺れながら楽しく慌しく、また集まろう! by ゆりこ
- これを見ればWAMに来てみたくなるような情報誌があればと思いつつ、はや1年。ようやくなんとか形になったかなと思っています。書きたいことがいっぱいなのでつつい字が小さくなって…。ページ数増えるといいのになあぁ by きょうこ

## ■開所時間

午前9時～午後10時  
(貸館受付は午後5時、交流サロン・ネットワークギャラリーは午後7時まで)

## ■休所日

①火曜 ②12/28～翌年1/4まで  
ただし、設備保守点検のため臨時に休所することがあります。

## 編集・発行

茨木市人権部男女共同参画課 茨木市立男女共生センターローズWAM  
Ibaraki City Auxiliary Center Rose WAM

〒567-0882 大阪府茨木市元町4番7号 TEL 0726(20)9920 FAX 0726(20)9921  
http://www.opas.gr.jp/city/ibaraki/wam/index.htm



阪急茨木市駅西へ徒歩5分  
JR茨木駅東へ徒歩10分

